

デザインコンテスト ワークショップ参加 海遠足



ドリームガールズデザインコンテスト ワークショップにて

皆様こんにちは。日本は紅葉する木々が見頃を迎える頃でしょうか？カンボジアでハイビスカスやブーゲンビリアの花を見ていると山茶花や椿の花がとても懐かしくなります。

今回のDREAM通信では、沢山あるイベントの中でも子どもたちがとても楽しみにしている海遠足の様子と、園の女の子たちが応募したドリームズガールズデザインコンテストで、1次通過した子たちがワークショップへ参加した様子をお伝えしたいと思います。

ドリームガールズデザインコンテスト ワークショップ

ドリームガールズデザインコンテストとは2011年より年に1度行われているカンボジア女性のためのコンテストです。園の子の中にはデザイナーを目指している子もいるため、ワークショップに参加することをとても楽しみにしていました。普段学ぶことのできないデザインに関してアドバイスを頂き貴重な時間を過ごせたようです。園の子が最終選考に残れることを期待し、初代ドリームガールズの方々がデザイナーとして活躍している姿を見て、夢を叶えるために努力することを忘れないで欲しいと思います。

海遠足

10月11日～12日の1泊2日でカンボジアの南西部にあるシハヌークビルの海とキリロム国立公園へ行きました。

11日は朝5時半に園を出発。お昼休憩を挟み午後2時に海へ到着しました。子どもたちが全員一気に海へ入ってしまうと安全確認が取れないため、高校生・中学生・小学生と時間を分けて海の中で遊びました。海や水場では危険が伴う事を事前にミーティングの中で伝えていましたが、待ちきれずに遊んでしまう子や、自分の遊ぶ時間以外に海の中へ入ってしまう子がいて、職員が注意をする事も多々ありました。全員が約束を守れず少し残念でした。それでも思いっきりはしゃぐ子どもたちの姿は、職員も海へ来る途中の疲れを忘れるほど楽しそうでした。



初めて海へ来た子も大はしゃぎ



砂浜でも楽しみました



砂浜でスイカ割り

海で思いっきり遊んだ後はスイカ割りを行いました。事前に決められたグループごとにクジを引き、スイカ割りに挑戦できるか挑戦できないかが決まります。クジ引きだけでも大盛り上がりで、海に遊びに来ていた他の方たちも見学に来るほどでした。目隠しをしてどこへ進むか誘導する声も大きく、スイカに当たっても当たらなくても全員が楽しんでいました。

海で遊んだ後はバーベキューレストランで夕食です。ジンギスカンとしゃぶしゃぶが一つの鍋で出来るような、日本では見かける事のない鍋で肉を焼いたり海老を焼いたり好きなものを好きなだけ食べていました。男の子たちはお肉を食べている率が高く、女の子たちは園で食べる機会の少ない海鮮類や練り物の食材を好んでいるようでした。

キリロム国立公園

翌日はキリロム国立公園へ行きました。到着後にキリロム工科大学の見学をさせて頂き、どんな校舎なのかどんな勉強をしているのか授業内容など学校の方に説明して頂きました。熱心にメモを取る子もいて、高校生の中にはこの見学をきっかけにどんな大学が他にもあるのかもっと知りたいと要望を出す子も増えました。キリロム工科大学の授業は全て英語で行われていて、日本語の授業は日本語のみ。カンボジアの母国語であるクメール語は一切使われていません。入学試験に合格する子は高校卒業試験の判定がAかBの子が殆どという事を教えて頂きました。今年の卒園生達はD判定が1人とあとの4人はE判定であったことから、子どもたちは入学試験を突破することはとても難しいと感じたかもしれません。

これからの時代も需要のあるITに興味のある子が、いつかキリロム工科大学に入学し勉強して夢を叶える日が来ることを願っています。

大学見学の後は、公園内で昼食のお弁当を食べそれぞれが自由に遊んで過ごしました。今回の遠足では保母さんからの要望で1人2000リエル（※\$1=4000リエル）のお小遣いを持たせました。何を買うか自分で考え、買いたい物があつたら、グループの担当保母さんに伝えて購入をするように決めていました。行きの道中で早々に使う子や、買いたい物が無ければすぐに使わずとっておく子と様々でしたが、自分で買ったお菓子を皆で分けて食べる子が多かったです。海遠足は2年に1度です。毎年行きたいと子どもたちから要望はありますが、沢山のお金が掛かっている事と支援して下さる方へ感謝する気持ちを忘れないよう伝えていきます。今のカンボジア社会を知る事や、学びに繋がる社会科見学の機会をこれからも設けて行きたいと思います。



お腹一杯食べました



キリロム工科大学の見学



キリロム国立公園にて